

# カモシカ通信



天龍村の村鳥  
ブッポウソウ

近頃は、今まで想像もしなかったような大雨が降るようになり、昨年発生した千曲川の河川堤防決壊などの災害は、まだ記憶に新しいところです。あらためて大雨への心構えの必要を感じるようになりました。皆様におかれましては、天候に気をつけてお過ごし下さい。今回のカモシカ通信は、『平成30年度 天竜川水系尾尾余ヶ沢砂防堰堤平岡工事用道路工事』が完成しましたのでご紹介します。

おおよけさわ

## 平成30年度 天竜川水系尾尾余ヶ沢砂防堰堤平岡工事用道路工事



現場代理人 松沢 保宏  
 監理技術者 塩澤 義幸

### 工事が完成しました！

### 無事に工事を終えての感想

2019年4月から下伊那郡天龍村平岡地先で施工していました工事用道路工事が完成しました。工事期間中は地元の皆様をはじめ、関係者の皆様にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。昨年5月に「折立橋」に設置された巣箱に入ってくれたブッポウソウも無事巣立ち、現場の作業員ともどもホッとしているところです。

今回担当した工事は、雨風、暑さ、寒さといった自然環境に立ち向かわなければならぬ現場でしたので、現場で働くみんなが作業環境を少しでも良くしようとアイデアを出し合い、創意工夫して、事故なく働くことができました。台風による増水で現場が流されてしまいましたが、割合短期間でもとに復旧することができたのも、みんなで協力し合った結果だと思っています。

1年間を通して四季を体験し、無事工事を完成することができました。ありがとうございました。



着手前 平成31年4月



完成 令和2年5月



河川敷内での作業になるので、作業環境を改善するために、  
 ・6月～9月は気温が高く、川面の照り返しの暑さを空調服を装着し解消しました。  
 ・11月～3月は日照時間が短く、暖をとるため暖房設備、カイロを常備しました。



令和元年10月12日～13日にかけて、台風19号の降雨による出水で遠山川が増水し、仮締切が切れて現場に大量の土砂が流入堆積しました。現場を埋め尽くした大量の土砂を約1ヶ月かけて排除し、もとの工程に戻しました。

### 遠山川砂防出張所からお知らせ

## 6月は「土砂災害防止月間」です！

地球規模での気候変動により、台風が強大化するともに、大雨の発生が増えることで、土砂災害の増加、激甚化が心配されています。

国土交通省では、土砂災害の防止と被害の軽減を目的に、昭和58年より毎年6月を「土砂災害防止月間」と定め、土砂災害についてのさまざまな啓発活動を行っています。

遠山郷においては、過去に幾たびか災害に見舞われてきました。土砂災害は一瞬のうちに人命や財産を奪う恐ろしい災害です。自分の身を守るために、雨が降り始めたらテレビ、ラジオ、インターネットなどで大雨に関する情報に注意するようにしましょう。



【泥に埋まった遠山中学校】  
 昭和40年9月 台風24号による被災状況



【土砂流出による国道152号の寸断】  
 平成22年7月 梅雨前線豪雨による被災状況